

人体解剖 DVD シリーズ

HUMAN ANATOMY <全 6 巻>

オリジナル版制作： トロント大学医学部

日本語版翻訳・監修： 日本大学医学部解剖学 助教授 手塚雅晴/助教授 後藤昇

日本語版/バイリンガル版

価格：各巻 52,800 円（本体価格 48,000 円）

- 人体の形態と機能を明解に解説します。教育目的に応じた、すぐれた標本（固定・未固定）を使用し、はじめて解剖を学ぶ人も明解に理解できます。
- 体表解剖、模型、イラスト、心臓の弁など生体内の様々な映像をリアルに示し、標本と比較しながら抜群の教育効果を高めます。
- 日本解剖学会選定の解剖学用語を使用しています。

1 脳（神経解剖）（19分）

はじめに脳の各部分（脊髄、脳幹、間脳、終脳）について示し、主な大脳溝、終脳の各葉、石灰質と白質、神経線維、大脳核、終脳と間脳の機能、脳幹、小脳、脊髄、脳神経、脳血管、脳室系、髄膜などの全般的な中枢神経の構造と機能をわかりやすく解説します。

（画面表示用語：157語）

2 頭頸部（17分）

頭蓋骨で成人と小児の解剖学的な比較からはじめ、鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭、耳の構造、耳管とその働き、咽頭鼻部、喉頭軟骨、声帯（生体での映像）とその働き、歯、気道閉塞と気道確保の概念、生体 X 線像による嚥下運動、咀嚼筋、唾液腺、咽頭後壁、気管、頸部の主要動脈、甲状腺など、呼吸と食物摂取を中心とした頭頸部の形態と機能を解説します。

（画面表示用語：58語）

3 胸部（22分）

はじめに呼吸器系を取り上げ、体表解剖、骨性の胸郭、固有胸筋、補助呼吸筋、横隔膜等の筋、呼吸のメカニズム、新生児の骨格と呼吸の特性、肺の形態などを解説し、循環器系では、心臓の各部と循環との関連、血液の逆流を防止する弁、心臓の栄養血管、心臓の刺激伝導系などを、大動脈弁の動きや血管造影などの映像をまじえて解説します。

（画面表示用語：54語）

4 腹部と骨盤部（16分）

腹部の体表解剖からはじめ、開腹して見られる大綱、肝臓、胃と十二指腸、それに続く空腸、回腸、大腸と虫垂、さらに脾臓などを示し、腹膜後器官としての副腎、腎臓、尿管、腹大動脈、を解説します。骨盤部では、骨盤の性差、骨盤出口の隔膜、女性骨盤内臓（膀胱、子宮、膣、直腸）、男性骨盤内臓（膀胱、前立腺、精囊、精管、直腸）などを示し、腹部と骨盤部の形態と機能を解説します。

（画面表示用語：78語）

5 上肢（36分）

上肢帯の関節（胸鎖関節、肩鎖関節、肩関節）、肩関節の運動とそれに関する筋（上肢帯筋、僧帽筋、広背筋、大胸筋等）、肘関節と靭帯、上腕二頭筋、上腕筋、上腕三頭筋、前腕の回内・回外筋と関節、橈骨手根関節とそれに関する筋、手、浅指屈筋、母指球筋、指伸筋の腱、中手筋、虫様筋、骨間筋、指の運動と腱の関係など、上肢の運動器の形態と機能を標本とモデルを比較しながら解説します。

（画面表示用語：106語）

6 下肢（下肢と背部）（28分）

体幹の運動、脊柱とその弯曲、脊柱起立筋、股関節と靭帯、股関節の運動、臀部の筋、股関節内転筋群、腸腰筋、膝関節、大腿屈筋群、大腿伸筋群、足関節とその運動、足関節の靭帯、大腿の筋、足弓など、下肢と背部の運動器の形態と機能を標本とモデルの動きを比較しながら解説します。

（画面表示用語：92語）

<https://www.hesco-online.jp/catalog/> Email: catalog@hesco.co.jp



総発売元 株式会社ヘスコインターナショナル
〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-13-7 TEL.03(3341)8890 FAX.03(3341)8837